

「高知県教育振興基本計画」(中間取りまとめ)に対するパブリックコメント

H21. 5. 15~6. 15

番号	居住地	性別	年齢	職業	意見
1	中土佐町	男性	61歳	無職	<p>○高知県の教育を改善する最大の手立ては、幼児教育に力を注ぐことだと考える。家庭の教育力を高める最適の時期は子どもが幼児期の段階だと考える。</p> <p>(1)管理職が職務に専念できる状況の整備 管理職がその職務に専念できる状況になっていない。事務職や専任の教頭、主任の配置が幼児教育を大きく変え、小学校へつなげる基礎を盤石する。人的環境が整ってこそOJTも推進され、幼児教育の内容の充実が図られる。</p> <p>(2)子育て相談員の配置 幼児期の子どもを持つ親は子育てに悩んでいる。専門的資格等を有する者の支援も重要だが、日常的に気軽に相談できる人が身近にいることも意味があるのではないかと。</p> <p>(3)地域の保健師との連携強化 心身に課題のある子どもとその保護者にとって、早期発見・早期治療は大切であり、幼児教育機関は、地域の保健師との連携を強化すべき。日常的に連携を図ることで、子どもと保護者の支援を行うことが必要。保健師との連携を強化することの効果の大きさを、地教委から発信し、連携をコーディネートしていくべき。</p> <p>(4)民生(児童)委員の教育 一般の人々が子どもの教育に関心を持つようにすることが地域の教育力の向上につながると思う。地域の人々と悩める保護者との仲立ちができるのが民生児童委員だと思う。「悩める親の支援に地域の教育力を活かす」ための仲立ちをできる民生児童委員だという情報発信を地教委がしていくべきだと思う。</p> <p>(5)企業との連携による子育て支援整備 家庭の教育力の大切さが指摘されるが、保護者が安心して子育てに力を注ぐことのできる環境を整える責任は社会にある。子育て真っ盛りの保護者にとって、このような子育て環境の制度面と心理面での整備は重要。この環境を行政が企業や社会に働きかけて整えていくことが、家庭の教育力の向上にもつながる。</p> <p>○期待に応えるだけの成果が上がらないと悩んでいる教員は多く、最大の理由は、子どもたちが難しくなり、課題が複雑で大きくなっていること。子どもたちに対応できる力量を高めるための自己研修のゆとりが必要。教員に自己研修のゆとりを持たせることが、管理職や行政の役割ではないか。</p> <p>○アンケート評価は、アンケートを作成する者、アンケート結果を処理する者によって、結果がゆれ動く。事業の実施は成果を生まなければならない。という行政の基本姿勢があるため、評価結果が甘くなりがちではないか。教育は一朝一夕では成果が出ない。優れた事業教育に関する事業評価は長いサイクルで考えることが必要ではないか検討して欲しい。</p> <p>○「特色ある学校づくり」に、殊更力を注ぐ必要はないのではないかと。学校の基本は、教師と子ども、子ども同士の結びつきをベースにした学びの場。道徳の時間や芸術教科なども含めた教科学習こそが命。特色づくりとしてイベントに力を注ぐ学校があるが、学校にとって大切なのは本来の使命を行うことではないか。</p>
2	高知市	男性	60歳	無職	<p>○追手前高校だけでなく、他の高校からも国公立大学に多く進学できるような状況が増えて欲しい。</p>
3	高知市	男性	60歳	無職	<p>○学力向上のために自宅学習や学習習慣の定着が必要だと思う。教育委員会、学校、教員が、真剣に話し合い、定着させるためにどのように取り組むか、どんな方法があるかについて考えて取り組んで欲しい。</p>
4	不明	男性	不明	不明	<p>○「学校で将来の基礎となる力を確実に身につかせよう」「教職員として日々研さんし、互いに高め合う取り組みを進めよう」はとても難しい。学校も教育委員会も真剣に取り組まなければならないという思いや姿勢が大切であるが、それが本当にできるのか。</p>
5	室戸市	女性	47歳	主婦	<p>○「中一ギャップ」について、課題の明確化(何に取り組むべきか)を問題提起して欲しい。</p> <p>○学力向上(家庭の教育力向上)をスピード感を持って行うには、20~25人学級を実施すべきではないか。</p> <p>○無理な統廃合について、検討して欲しい。</p>

「高知県教育振興基本計画」(中間取りまとめ)に対するパブリックコメント

H21. 5. 15~6. 15

番号	居住地	性別	年齢	職業	意見
6	香南市野市	男性	48歳	会社経営	○計画はともしっかりできているが、誰がどのように高いモチベーションを持って、この計画を具体的に実行するかが大切。
					○国公立大学進学者数は伸びたが、追手前高校以外は推薦入学が多い。推薦入学の生徒の中には、一般入試では合格できない学力不足の生徒もおり、大学でもついていけないこともある。このような現状を踏まえ、義務教育ではない高校の定員を少なくし、勉強をしないと入学できないようにすべき。
					○生徒も親もあまりにも甘えている。みんなに変革の可能性がある、その力がある。社会や人に甘えるのではなく、自己変革をすべき。
7	高知市	女性	44歳	自営業	○学校・PTA・地域が一体となって、高知県の教育力を向上させようとする意欲は理解できる。かなり困難なことがあると思うが是非実行して欲しい。
					○高知県の強みに「食育」とあるが、ほとんど行われていない中学校給食を実施すべきである。また、特別支援学校のように、生徒が畑で野菜等を育て収穫し、その食材を給食に使うといった生活の営みを実感していくことが求められているように感じる。
					○学力の面で私立にぬける生徒の影響として他県との比較があったが、高知県では、成績の上位者が抜ける割合が他県よりかなり多いのではないかと。言っても仕方がないことだが、中学受験率の高さが、学力や経済力の二極化の一番の原因だと思う。
8	高知市	女性	47歳	市会議員	○計画は素晴らしいが、現場の教員一人ひとりがどのくらいこの計画をきちんと理解できているのか。具体的なイメージが全くないと思う。
					○高知県の所得が低く、共働きが多く、離婚が多いという特徴を考えたら、他県と同じことをしていてもダメではないか。
					○様々な活動をしている人や、人懐っこい優しい県民が多いので、協力してもらおうとよい。
9	高知市春野	男性	47歳	農業	○教育理念はこれでいいのかという思いもあるが、「教育による社会変革の実現」が今後の方向性に出ているので、理解し協力をする。
					○教育委員会、学校、家庭、地域がそれぞれの役割を担うために、どのような支援があるのか。また、大人の教育力を伸ばすためにどのようなやり方があるのか。
					○地域にプランニングを勧めるリーダーがいなくなった。地域で考えることの大切さもわかってはいるが、県の指導者に地域のプランニングをお願いしたい。
					○小学6年生から中学1年生の間に教育的問題が多く出ていると感じる。小中学校の専門性を生かした新しい再編計画を出して欲しい。
					○地域に学校がなくなるのは寂しい。地域の人々のやる気もなくなす。小中合同教育(小中一貫教育)の内容なども考えて欲しい。
10	いの町	男性	45歳	公務員	○高知県は学力・体力ともなど色々な面で全国ワースト2位となっている。それをどうしたら少しでも向上できるのかを考えていると思う。学習時間を一定確保することも必要だと思うが、もっと大切なことがあると思う。子どもは興味を持たれば勉強も運動も自ら進んでやる。子どもに興味を持たせる教育が必要なのではないか。鹿児島県の保育園の事例がテレビで放映されていたので参考になると思う。
11	四万十町	男性	44歳	林業	○課題が多すぎて対応しきれっていない。低収入や仕事がないことなど、子どもに与える影響は大きい。少子化で子どもも少なくなり、教員も少なくなる。これでは学力も体力も低下するばかりだと思ふ。
					○教職員に求められているものが多すぎて大変だと思う。1人の教員が何役も果たさなければいけないのは厳しい。
					○子どもが夢を持てるような高知県にしないでほしいと思う。

「高知県教育振興基本計画」(中間取りまとめ)に対するパブリックコメント

H21. 5. 15~6. 15

番号	居住地	性別	年齢	職業	意見
12	四万十市	女性	47歳	会社員	<p>○統合で、子どもたちの時間や自力で動ける場所、仲間は激減し、教員は報告や施策に追われ、余力が無くなっている。余裕のない義務で行う教育は、子どもたちの力を伸ばす助けになるのか。意欲を引き出せるのか。</p> <p>○高知市と周辺地域をひっくめて考えられることだろうか。数字だけ追っているのは子どもの本来の力が見えなくなるのではないか。</p> <p>○家庭での自主学習のことばかりが言われるが、学校で学ぶことでは子どもたちの学力を伸ばすことはできないと公言していることになるがいいのか。</p> <p>○目先の数字ばかりに追われない長期的な計画を考えていけたらいいと思う。</p>
13	宿毛市	女性	46歳	幼稚園教諭	<p>○保幼小中連携を掲げ、基本的な生活習慣の重要性を伝えても、親には伝わらない。子どもを育てる、学力を身につける基本は家庭にあることは間違いないが、社会経済状況の悪化とともに荒み、崩壊していると痛感する。まず、親になりたい、子育てを楽しみたいと思える高知県づくりが第1ではないか。子育て、親育てを教育の原点とできる計画・取組をお願いしたい。</p>
14	須崎市	男性	55歳	無職	<p>○幼児教育について 本県は「保育王国」と呼ばれているように、保育園の存在は、就学前、幼児教育に大きな役割を果たしている。保育園統廃合や異年齢混合保育などの問題も大きい。保育行政との連携はどうなっているのか。 また、幼児教育を考える場合、幼稚園＝教育、保育園＝福祉という図式を外すことが必要ではないか。</p> <p>○PDCAサイクルについては、教育課程などのことになると県教委レベルを超えるが、どのレベルを想定しているのか。 また、単年度主義の現行の問題も検討すべき。PDCAサイクルは、状況対応の柔軟性と経験の積み重ねが不可欠だが単年度主義では人材育成はできない。</p> <p>○3月末の人事異動により、4月からの校内体制が大幅に変わり、継続的な実践に支障が出る可能性がある。3年程度は一定の人数やポストに基づいた学校経営を保証すべきではないか。</p> <p>○第3章の責任と役割について (1) 立場と役割を整理することは大切だが、短い表現なので誤解を生む可能性もあるため、丁寧な説明が必要である。 (2) 県教委と市町村教委の関係は、権限の範囲や責任の所在を機会あるごとに明確にして欲しい。 (3) 学校が「教育の場」はそのとおりだが、指導→成果という図式になりにくい、不登校や障害のある子どもに無理を強いることのないように。 (4) 「家庭は子どもの教育の最終的な責任者」は、字面に惑わされると、助けを必要としている家庭や家族を窮地に追い込むことになりかねない。また、基本的な生活習慣は、障害のある子どもにとっては基本的な教育課題であるため家庭だけでなく学校での特別支援教育もあるので、問題に応じて、家庭に要請すること、学校が支援すること、行政が保障することなど適切に判断、対応すべき。 (5) 「地域は教育的風土づくりの出発点」は、以前、配置されていた地域指導主事の成果や課題が今回の計画にどの程度生かされているか。</p>
15	高知市	男性	60歳	無職	<p>○国公立大学に進学している児童生徒は、よく家庭学習をしている。家庭学習を徹底すれば、進学率は良くなると思う。</p>
16	高知市	男性	60歳	無職	<p>○公立中高校の生徒は、私立中高校の生徒よりも長い時間家庭学習を行い、私立高校に負けない大学進学を望む。</p> <p>○教員は、生徒に分かりやすい、学力をつける授業を行い、予習・復習等の家庭学習を定着させるようにすべき。</p>
17	高知市	男性	60歳	無職	<p>○公立学校では、児童生徒の将来につなげるための指導をしているのか。そういう指導をしなければいけない。</p>

「高知県教育振興基本計画」(中間取りまとめ)に対するパブリックコメント

H21. 5. 15~6. 15

番号	居住地	性別	年齢	職業	意見
18	四万十市	男性	59歳	教員	<p>○高知県の教育を何とかしなければいけないと誰もが考えていると思うし、教育委員会は高知県・教育を変えようとしていることも感じるが、現段階ではやらされる感を払拭出来ないと思う。そのためにも、「今、あなたの方で高知の教育を変えませんか」「今の多忙感や手のかかる生徒もこの改革で解消できます」「教育委員会が先走りしているのではなく、県民全体の要望です」などのアピールが必要だと思うし、学校現場を見て理解して欲しい。</p> <p>○教員が、大変な苦勞をしていることを認めることも必要。</p> <p>○秋田県の具体的事例を示し、高知県もこうすればできるという先が見えるように示したら、多くの教員がやる気になる。</p> <p>○「こんなこともできないのか」と言うより、「できる力を持っているので、力を出し合い、一緒に頑張りましょう」と言うほうが人は動く。県内で成果が上がっている事例も出せば、やる気になる人も出てくる。</p>